

ノイエスだより

ノイエス朝日
(朝日印刷工業株式会社)

群馬県前橋市元総社町73-5
TEL 027-255-3434
FAX 027-255-3435
https://www.neues-asahi.jp
Communication House
NEUES
ASAHI

仕事の合間に近所を歩いていると金木犀の香りがどこからともなく漂ってきました。赤とんぼが群れ飛び、樹々の葉も色づきはじめ、ようやく秋本番です。

芸術の秋、読書の秋、食欲の秋と言われ、何をやるにも良い季節ですが、展覧会は一年中開催され、そして読書は書店の減少にみられるように社会の変化に伴い激減。その点、コロナ禍以来テレビ番組では溢れるような食事情が流れています。

白米に古漬けの沢庵、小魚の網焼き、カブやジャガイモの味噌汁。そんなシンプルな献立を一番美味しいと感じるのは昭和生まれの私なのか・・・と思ったりします。時々の贅沢料理も良いのですが・・・。

先日、テレビ「ガイアの夜明け」で『移住で夢を叶える！』と桐生を取り上げていました。生まれ故郷でもあり「桐生愛」は前橋生活の方が長いのですが強いようです。町づくりは全国各地で行われています。桐生の魅力には他の地域にはない数多くの要素があります。

織物産業で栄えた桐生には数多くの「ノコギリ屋根」を有する工場が今でもあり、リノベーションをして行政と市民が地域再生をしています。また、昔から同じ地に住み続ける人々と県外から来られる人々を受け入れる桐生気質のようなものがあるように感じます。それは最近の「桐生祭り」の状況を見ると納得がいきます。

私が子供の頃からある鰻屋、ソースかつ丼、うどん屋などの食堂。お弁当屋、菓子屋、漬物専門店。たとえ店がなくなっているアイスクリーム店なども別の方法で販売していて今でも懐かしく味わえます。

市民に支えられ、そして愛されているものは地域住民と外から観光で来る人々にとっても魅力です。そしてなにより街中の路地が残されていて散策する楽しみがあり、十五分も車を走らせれば自然に恵まれた梅田や川内の四季折々の樹々の美しさ、清流の豊かな環境に別世界の楽しみを見出せます。遊園地や動物園もあり、子どもを育てるのには忙しい現代人にとっては経済的にも交通手段としても気軽に出かけられるという利点があり、全国住み続けたい街ランキング三位になるのは当然かと思えます。以前、街中を散策して写真撮影をして回った折に閉店した銭湯を一枚に収めました。その銭湯も移住された方が再生、生き返ったようで嬉しく思いました。町づくりは住民と他県から来る多くに人々のコミュニケーション、交流から生まれるもので年代を問わず、開かれた「場」でなくてはならないと思います。(武藤)

ノイエス朝日〈展覧会〉のご案内

新井コー児展

〈企画〉

会期 十一月二日(日)～九日(日)

初日は日曜日になります。

午前十時～午後五時(最終日は四時)

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

ノイエス朝日で初めての個展です。

一九九三年高崎市生まれ。大学卒業後、県内外で個展、グループ展で作品を発表。女子高生、猫や犬などの小動物が自由に懐かしいような風景の中、それでいて新しい世界観を作り出しています。心地良い笑いを誘う作品の数々をお楽しみください。

狩野静江展

〈企画〉

会期 十一月十五日(土)～二十三日(日)

午前十時～午後五時

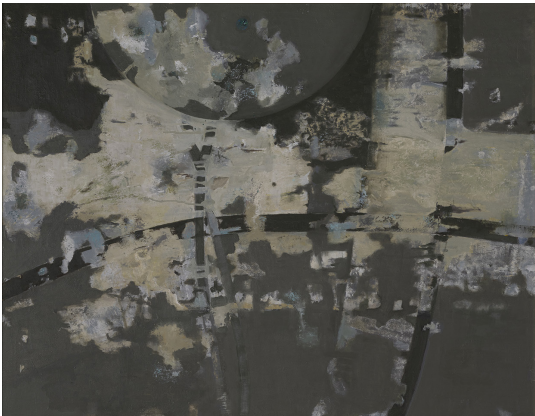
会場 ノイエス朝日 スペース1・2

ノイエス朝日で七年ぶりの個展です。

学生の頃より絵筆を持ち、公民館活動を中心に長年制作を続けてきた狩野静江さんは、生活の中にある植物や風景に心ひかれ、具象や抽象表現そしてマチエールにも熱心に向き合い現在に至っています。

今回の展示は、SMF F60まで六十数点を展示します。

映し出される心象風景は、そして描き出されるものは狩野静江さんの長年の集積された世界であり、是非多くの方々にご覧いただければと思います。



交差 F60

難波多輝子展

〈企画〉

会期 十一月二十九日(土)～十二月七日(日)

午前十時～午後五時(最終日は四時)

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

小林裕児個展

〈企画〉

会期 十二月十三日(土)～二十一日(日)

午前十時～午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

小林裕児氏は、二〇二三年に埼玉から安中市に拠点を移し制作をしています。

上州の山々の風景の中、散歩に出かけ目にする自然は、作家に新たな世界観をもたらせたようです。

開かれた絵画の窓は、ますます広がり、そして光輝く太陽に照らされた人物はパワー溢れる女性の姿であり、それを温かく見つめる男性の眼差し。馬に身を任せて大空を駆け巡る愛に満ち溢れた姿は大きな勇気を与えてくれます。

精力的に制作を続ける小林裕児氏の新たな作品の数々をご高覧ください。

＊「難波多輝子展」、「小林裕児個展」のご案内は、次回の「ノイエスだより」でお知らせいたします。

ノイエス朝日(ギャラリー)は、展覧会会期中以外は休廊しています。お問合せは展覧会会期中にお願いいたします。なお、スタッフは、武藤、忌部、小林のシフトでギャラリーに在廊していますが、各スタッフへの直接のお問い合わせの場合は、事前にお電話ください。よろしく願います。

